

第 11 回

情報粘着性

企業の問題解決活動における情報の移転の難しさにかかわる概念

- 情報粘着性が高くなるほど、情報の移転は難しくなる
 - 情報粘着性が低くなるほど、情報の移転は容易になる
- 「情報粘着性」 = 「情報の移転にかかる費用の大きさ」

< 企業の境界と情報粘着性 >

問題解決に必要な情報は、一つの職場の中、一つの企業内だけですべて揃えられない
企業の外部からも情報収集する

例：自動車産業における承認図方式（情報粘着性が高い）

部品の生産の効率化に必要な情報はサプライヤーの製造現場にある

.....自動車の新しい部品の開発・技術的な問題解決をサプライヤーに委託

アウトソーシング [企業活動の特定部分を切り離して外部の企業に委託する]

例：半導体部品 ASIC の回路設計（情報粘着性が低い）

発注者の電機メーカーから半導体メーカーに対して、設計用 CAD ソフト提供

.....このソフトに情報を形式化して記憶させて、移転しやすくしている

情報の性質を移転しやすいかたちに变化

< 情報粘着性の決定要因 >

情報を受け手に移転可能(利用可能)なかたちに変換する過程・それにかかる費用
情報そのものの性質

情報の明確化の程度...マニュアル等で形式化できるか、ノウハウなどの暗黙知か

情報の複雑さの程度...要素の数・要素の種類・要素間の相互依存関係

情報のシステム依存度...ある情報がもっと大きなシステムの一部か、否か

情報の受け手と送り手の性質

受け手の能力...吸収能力(関連分野の情報を過去に受容した経験によって形成)

送り手の信頼性...情報源として信頼できない場合、確認に手間と費用がかかる
コミュニケーションの頻度と経路

...受け手が欲しいタイミングに送り手から情報を得られるか

情報を移転する過程・それにかかる費用

情報量...移転される情報量が増加すれば、移転費用も大きくなる

情報の記憶媒体...ヒト・機械・製品・ソフトなど移動させることが可能か

情報の観察可能度...製品は解体・分析可能、製造工程は製品観察から理解不可能

* 情報の移転・模倣可能性と企業の競争優位（企業特殊的優位 / 立地特殊的優位）

クラスター

関連企業・関連機関が地理的に産業集積している状態

...競争力をもつ企業や産業は、特定の地域で発生し、集積している

- さまざまな専門能力を持った企業・機関によって細かな分業が発達している

原材料・部品・加工サービスを提供するサプライヤー、
流通業者・販売業者、地方自治体、大学、金融機関...

- それぞれが緩やかに結びつくことによってネットワークを形成している

- 協調的な関係だけでなく、激しい競争も行われている

同業ライバル企業、新興企業と既存企業

* 代表的なクラスター例

シリコン・バレー(半導体・コンピュータ・通信)、

ハリウッド(エンターテインメント産業)、イタリアのプラトー(毛織物産業)、

東京の城南地区(機械金属工業の組立・加工技術)など

「技術」での専門化(たとえば、機械加工、プレス、板金・溶接、めっき、熱処理)

クラスターのメンバーは単一産業だけでなく、多くの関連産業に従事している

< 立地の競争優位の源泉 > 図 20.1 参照

4つの要素が相互に関連しながら競争力あるビジネス環境が作り出される

投入資源条件、 関連産業・支援産業、 企業戦略・競争環境、 需要条件

< クラスターがもたらす経済効果 >

* 専門的な知識と豊富な経験をもった人材が集まっている

人の採用活動にかかるコストを減らせる

* 専門性の高いサプライヤー、公共の試験・検査施設、大学の研究機関を利用可能

調査にかかるコストを減らせる

* それぞれに深い技術を蓄積したメンバーが、その組み合わせを柔軟に変えていく

柔軟な分業システムによって、多種多様に化する需要に対応できる

柔軟な専門化：中小企業が緩やかに結びつくクラフト的生産体制

巨大企業による大量生産体制

* メンバーは継続的な取引関係を通じて、技術・品質・価格・納期に関してお互いの

信頼関係を形成している **機会主義的行動**や裏切りを防止する効果

* 地理的な近接性 日常的に頻繁に接触、インフォーマルな結びつきが信頼を強化

クラスター内部での情報の流れを促進する

* 同じクラスターに立地するライバル企業からピア・プレッシャーを感じやすい

競争意識が芽生え、その刺激が企業の活力を生み出す